

平成16年度 第3回意見交換会報告

日時： 平成17年2月4日（土） 10:00 ～ 12:00

場所： におい・かおり環境協会会議室

出席者（敬称略 順不同）：

祐川英基（三菱マテリアル資源開発）、高山洋一（近江オドエアーサービス）
中野 肇（新明和工業）、石川英一（日本デオドール）、小坂芳雄（環境管理センター）、
相部紀夫（エコ・ワークス）、伊藤英武（におい・かおり環境協会）
吉栄康城（新コスモス電機）、平林憲次（東亜道路工業）、清水洋一（日揮ユニバーサル）
オブザーバー 岡田誠之（東北文化学園大学）

以上 11名

1. 講演報告

演題「生活関連臭気の現状について」 講師 石川英一殿

住宅内で発生する臭気の種類と苦情の特長、臭気の相談に対する対応の手順、留意点などが説明された。また、対応した事例も紹介された。苦情者（調査依頼者）への対応の箇所も説明され、今後このような相談を受けるにあたっての留意点を説明していただいた。（テキスト、別紙1参照）

2. 今年度の活動状況報告

事務局より、今年度の活動報告がなされた。

- 講習会は①臭気判定士向けと②臭気判定士試験受験者向けのもの2回開催する予定であったが、準備不足で②だけ開催することが出来た。（詳細は別紙2参照）
受講者は36名であった。
- 臭気判定士試験解答集について、14年度版を制作し販売した。13、14、15年度分が完成し順調に販売されている。現在、12年度と16年度版を制作中である。17年4月末頃販売の予定である。
- ホームページに求人・求職広告を掲載しているが、殆ど活用されていない。
- 意見交換会は今回の開催も含め、3回開催された。
- 判定士会のPRは特に推進されていない。具体的な方策立案と実施が必要である。
- 新資格制度について、判定士会として支援するための検討会を立ち上げることにしていたが、緊急性を要していなかったため、現在のところまだ発足していない。

3. 生活臭研究会発足の報告

におい110番や、分析会社、その他機材関係メーカーへ生活関連の臭気に関する相談がよせられているが、それぞれで対応している現状である。そこで、情報の集中化及びその有効活用など諸策が必要となり、室内臭気部会長の岡田先生、消・脱臭剤部会長の岩橋先生の参画を得て生活臭研究会を発足させた。運営理事会の承認が得られ正式に発足している。研究会への参画はいつでも可能となっているので、希望者は

事務局に申し出てください。(発足企画書、別紙3参照)

4. 臭気対策アドバイザー制度が発足し、受験受付がすでに行われており、締切が2月末であることが説明された。
5. 悪臭防止法に基づく臭気指数規制導入自治体が平成16年12月24日現在、260に達していることが説明され、導入自治体のリストが配布された。(ただし、自治体合併による修正は未実施である)
6. 次回の予定

開催日程 平成17年5月中旬から下旬の土曜日

講演テーマ “ビルピットからの臭い対策など” 講師 中野 肇 殿 (新明和工業)

都会生活の中で、良く体験することがあるビルピットからのにおい(ビル街を歩いていると時折感じる)について、最近の対策動向を紹介していただく予定です。
多くの方の参加をお待ちしています。